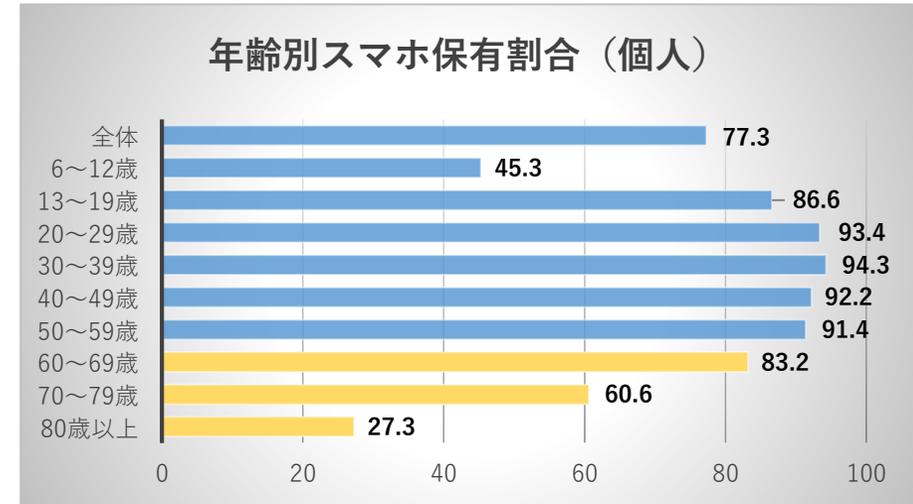


スマホの保有率について



- スマホの保有率は全体で約77%と高い状態
- 高齢者についても、80歳未満は6割以上の方がスマホを保有している



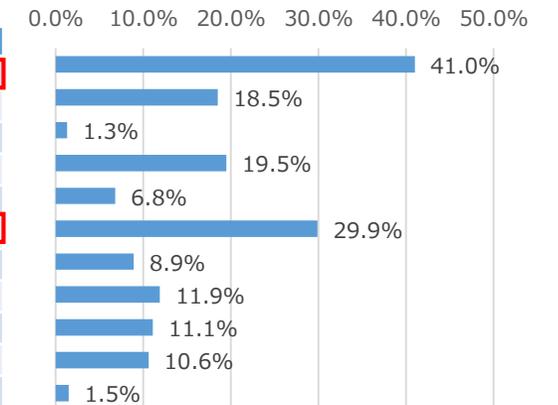
出典:総務省「令和4年通信利用動向調査」

【令和4年度西成区民アンケート調査結果】

あなたは普段、区役所の情報をどこから入手しますか？

複数回答

選択肢	回答数
1 広報紙	162
2 区ホームページ	73
3 SNS	5
4 チラシ・ポスター	77
5 暮らしの便利帳	27
6 町会の回覧	118
7 テレビ	35
8 家族・友人	47
9 興味・関心がない	44
10 入手方法がわからない	42
11 無回答	6
回答総数	636
対象回答者数	395



情報の入手方法は紙媒体が多い傾向にある

紙媒体にはないスマホの利便性について



- **速達性** 今知りたい最新情報がすぐわかる。例) 防災アプリ

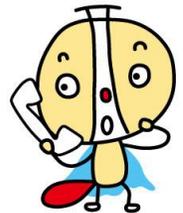
- **可搬性** 紙媒体だとかさばるけど、スマホならたくさんの情報を持ち運び可能。



- **属性に応じた情報取得** 必要な情報を選んで受け取れるよう設定することが可能。

- **検索が容易** 検索したいキーワードを入力すれば様々な情報がすぐに出てくる。

- **連動性** 電話番号タッチで架電可能。
地図情報も自分の位置と連動して目的地へ行きやすい。

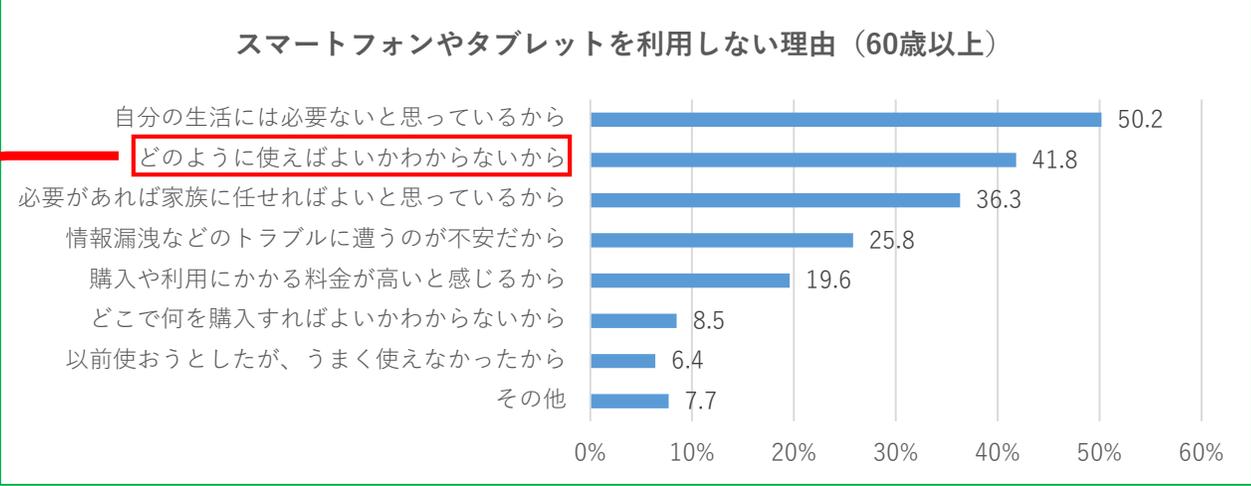




スマホ普及に対する取組について



・高齢者世代の現状



出典:内閣府（2020）「情報通信機器の利活用に関する世論調査」

・60歳以上の約42%の方が「**使い方が分からない**」と回答



今後、より多くの人に
スマホを活用していただくためには、どのようにすればいいと思いますか？

スマホの利便性について ～大阪府・市が配信しているサービスの例～



行政オンラインシステム

スマートフォンからかんたんに行政手続きを行うことができる
(例) 水道利用開始の手続き、住民票の写しの交付申請



大阪市公式LINE

災害時の緊急情報、イベントや生活に役立つ情報をお届け

LINEトーク画面下部のメニューで気になるアイコンをタップすると便利な情報を見ることができる！



大阪市防災アプリ

防災マップ・雨雲レーダーの閲覧、災害発生時の情報収集機能など、普段から災害時まで役立つアプリ

もしもの為に、今始めよう / ぼうさい 大阪市防災アプリ

- いざという時のための 国民保護法上の 緊急一時避難施設を掲載
- 日ごろから使える 気象情報・雨雲レーダー 降水予測や台風進路も 閲覧可能になりました。
- わかりやすく伝えます 防災シグナル 警報等が発令されると 色の変化でお知らせします。

他にも英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語を選べるようになりました。



アスマイル

日々の健康活動を記録し健康を管理しながら、プレゼント抽選に参加できる

